



協力して古代米の苗を植える児童と生徒ら＝10日、鳥取市青谷町青谷

古代米田植え丁寧

青谷小・高生「弥生人」追体験

上寺地遺跡

国史跡青谷上寺地遺跡（鳥取市青谷町青谷）内にある水田で10日、地元の子供と青谷高生徒が古代米の田植えを行った。交流しながら手植えし、「弥生人」を追体験した。

同遺跡への興味関心を高めようと毎年実施。小学5年生38人と「青谷学」を学ぶ高校2年生7人が参加した。高校生の参加は初めて。

5月に児童と高校生がもみまきした古代米品種「緑米」と「朝紫」の苗を使用した。児童と生徒は、同遺跡史跡保存活用協議会（久

印で植える位置を確認しながら丁寧に植えていった。山岡莉子さん（10）は「苗の根っこをちゃんと付けるようにして植えるのが難しかったけど、楽しかった」と笑顔。高校生は今後、同遺跡の発掘調査体験などを予定しており、森井優我さん（17）は「普段できないことなので楽しみ」と話した。10月に予定する稲刈りにも児童と生徒が参加する。

（渡辺暁子）

日本HPに動画